

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年12月 東臼杵農林振興局
(東臼杵南部農業改良普及センター)



東臼杵南部農業改良普及センター
ホームページ

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 【椎葉村】若手とベテラン肉用牛繁殖生産者が意見交換
 - 2 【門川町】農福連携向け作業工程現地検討会を実施
 - 3 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会が個別面談を実施
- II 主な普及指導活動等の取組 (P 3～5)
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～5)
 - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
 - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
 - 1 【美郷町】農業経営改善に向けた農業経営改善計画書作成を支援
 - 2 【椎葉村】畜産経営体の経営改善に関する検討会の開催
 - 3 【日向市・門川町】法人一斉ヒアリングを実施
 - 4 【日向市】新規就農を支援、施設園芸での検討を開始
 - 5 【門川町】給付金受給者の就農状況を確認
 - 6 【美郷町】就農希望者の検討会を実施
 - 7 【門川町】就農希望者に向けた支援を実施
 - 8 【日向市・門川町】日向地区本部平兵衛酢部会のハウスへべす園地巡回を実施
 - 9 【日向市】日向地区本部平兵衛酢部会露地へべす支部別剪定講習会が開催
 - 10 【美郷町】美郷町くり部会剪定講習会が開催
 - 11 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマト役員支部長会で展示ほ成績を報告
 - 12 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーの収穫時期の草勢・肥培管理について講習
 - 13 【椎葉村】就農までもう一歩、就農計画完成間近
 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 6～7)
 - 1 【美郷町】新品種候補系統「南海189号」の講習を実施
 - 2 【日向市・諸塚村・美郷町】ほおずき個人面談を実施
 - 3 【日向市】きゅうりの生育調査をスタート
 - 4 【諸塚村】夏秋ミニトマト 根の堀取りと土壌硬度調査
 - 5 【椎葉村】ほうれんそうの個別面談を実施
 - 6 【椎葉村】農業者研修動画の視聴会を開催
 - 7 【椎葉村】外国人材の活用状況を視察
 - 8 【椎葉村】春の七草出荷目揃え会が開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【椎葉村】若手とベテラン肉用牛繁殖生産者が意見交換

8日に、若手肉用牛繁殖生産者2名と関係者10名が参加し、農業経営指導士的那須雅志氏の牛舎視察及び意見交換会を開催しました。

視察では、指導士からICTを活用した多頭飼養の管理技術について実物を見ながら説明を受け、飼養管理に関する意見交換を行いました。参加した若手生産者は牛舎の寒冷対策の様子を写真に収めたり、指導士の購入飼料のみの飼育方式について熱心に質問するなど前向きで充実した視察になりました。



【畜産若手視察】

2 【門川町】農福連携向け作業工程現地検討会を実施

3日、門川町のミニトマトハウスで、就労継続支援B型事業所「きんこう」の職員1名とともに、農福連携に係るミニトマト作業工程の現地検討を行いました。

本検討会では、収穫、摘葉、つる下ろし、脇芽取り、誘引の5つの作業工程について整理・策定を支援しました。

施設側からは、農業未経験の職員や施設利用者の円滑な作業開始につながると期待され、好評でした。



【農福連携向け
作業工程検討会】

3 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会が個別面談を実施

10日及び11日、美郷町役場で、美郷町さいごう完熟金柑部会の部会員29名を対象とした個別面談を、町及びJAの担当者とともに実施しました。

部会員の高齢化が進んでいる状況を踏まえ、経営継承や雇用労力の確保を中心に聞き取りを行い、生産実績に基づく今後の対策について検討しました。

今後は、面談結果を分析した上で、部会が主体となった産地維持の取組が進められるよう、関係者と連携しながら支援していきます。



【個別面談】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトマ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、アヒール 等]

1 【美郷町】 農業経営改善に向けた農業経営改善計画書作成を支援

2日と18日に、美郷町役場で農業経営改善計画申請（新規2、更新9）に向けた作成支援を行いました。

新規計画については、白色から青色申告への切替えと貸借対照表作成の提案、更新計画については、前回の目標と現状を確認し、今後5年間の経営発展に向けた改善計画の検討と、新たな目標設定を行いました。

生産コストが上昇する厳しい情勢ですが、安定的に所得確保するための戦略について考える有意義な場となりました。

2 【椎葉村】 畜産経営体の経営改善に関する検討会の開催

10日、JA会館で、7月に引き続き椎葉村の畜産経営体における経営改善に向けた関係者の検討会を開催しました。会では、これまでの経緯と現状課題を踏まえ、増体管理や飼養管理等の収益に直結する技術支援と、経営分析に基づいた経営支援の両輪で課題解決を図るための支援計画を決定しました。

今後も経営改善が図られるよう、支援活動を継続していきます。

3 【日向市・門川町】 法人一斉ヒアリングを実施

9日に門川町、17日に日向市の各1軒の農業法人に対し、法人経営の現状と支援ニーズを確認する法人一斉巡回調査を行いました。

法人からは、最近の状況とともに、経営改善等についての支援要望を聞き取りました。

今後、農業経営者サポート事業等を活用し、経営を前に進めるための伴奏支援を行っていきます。

4 【日向市】 新規就農を支援、施設園芸での検討を開始

5日、日向市で、就農相談が1件あり、市担当者と連携して対応しました。相談者は、11月9日に宮崎市で開催された「みやざき就農応援相談会2025」に来場された夫妻です。

実際に日向市のミニトマトで参入した生産者のほ場見学や、直接話を聞く機会を設けた結果、就農後の具体的なイメージを持つ上で大変参考になったとのことでした。

その後、JAも交えた協議を行い、施設花きでの就農希望の意向が示され、今後の研修等に向けた準備を開始することとなりました。

引き続き、関係者と連携しながら、新規就農者の確保に向けた取組を進めていきます。



【ミニトマトほ場見学】

5 【門川町】 給付金受給者の就農状況を確認

17日、門川町で、農業次世代人材投資資金の受給者1名を対象に、関係機関・団体からなるサポートチーム5名で就農状況確認を実施しました。

はじめに、就農状況確認チェックリストに基づき、経営状況や営農意欲について聞き取りを行い、その後、ほ場の栽培管理状況を確認しました。

その結果、概ね計画どおりの経営が行われており、前作の課題が改善されているなど、営農に対する高い意欲がうかがえました。

今回の対象者は、今年度が本資金の受給の最終年となり、サポートチームによる現地確認は最後となりますが、今後も必要に応じて関係機関・団体と連携した支援を継続していきます。



【就農状況確認】

6 【美郷町】就農希望者の検討会を実施

8日、美郷町役場で、きんかんでの就農を目指す地域おこし協力隊員を対象とした検討会を、関係者6名で実施しました。

普及センターからは、きんかん経営における収支試算結果の説明を行い、美郷町からは、新規就農者が活用可能な町の支援事業について説明がありました。

今後も関係者と連携し、就農希望者の意向を踏まえた就農計画の具体化及び就農スケジュールの作成を進めていきます。

7 【門川町】就農希望者に向けた支援を実施

1日及び22日、門川町役場で、トマトでの就農希望者を対象とした就農計画作成検討会を、関係機関・団体とともに実施しました。

本検討会では、本人作成の収支計画について検討を行い、収入面については根拠を確認し数値を修正するとともに、経費面では未計上の費用を整理・追加し、計画全体の精度向上を図りました。

あわせて、関連事業の活用を見据えた今後の就農スケジュールについて再度整理を行いました。

今後も、今回整理した就農スケジュールに沿って、関係機関・団体と連携しながら支援を行っていきます。

8 【日向市・門川町】日向地区本部平兵衛酢部会のハウスへべす園地巡回を実施

16日、ハウスへべす園地巡回を行い、6名の園地の生育・栽培管理状況を確認し、今後の管理について生産者と意見交換を行いました。

早い園地では1月下旬から2月上旬頃に加温を開始し、出蕾や開花に向けた管理を実践していきます。今後も病虫害防除や、時期別の温度・水管理について指導を行い、高品質安定生産を目指して支援していきます。



【ハウスへべす巡回】

9 【日向市】日向地区本部平兵衛酢部会露地へべす支部別剪定講習会が開催

17日、露地へべす剪定講習会が4支部で開催され、生産者・従業員等49名、関係者2名が参加しました。

講習では、普及センターから剪定のポイントについて説明した後、JA職員、篤農家(アドバイザー)2名と連携し、剪定指導を行いました。

夏秋季の高温や短期間の連続降雨等の影響で、夏秋梢や病虫害の多発生が確認されたため、剪定による樹作り、越冬病虫害防除等を徹底し、来作の安定収量確保につながるよう指導しました。



【支部別剪定講習会】

10 【美郷町】美郷町くり部会剪定講習会が開催

19日、美郷町西郷と南郷のくり園で、美郷町くり部会剪定講習会が開催され、生産者約30名、関係者3名(うち、地域おこし協力隊1名含む)が参加しました。

普及センターからは、くり剪定のポイントや害虫対策等について説明後、剪定を実演しました。

今作が豊作だったことを受け、充実した結果母枝の確保を特に説明し、翌年の安定着果を促す指導を実施しました。

一部の生産者からは、「毎年剪定が不十分だったが、今回の指導を元に樹や枝の発生状況に応じた剪定を行い、安定着果を目指したい」との前向きな発言がありました。



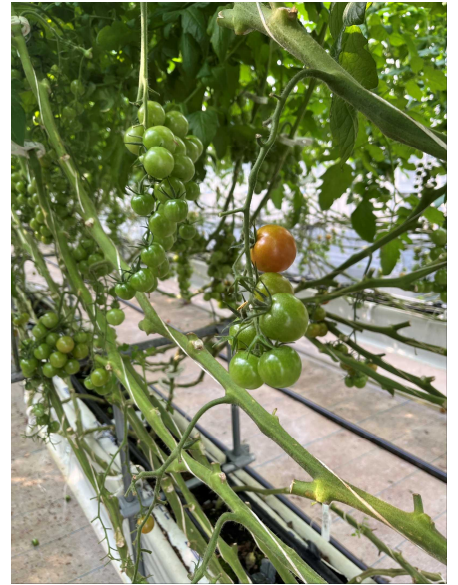
【くり剪定研修会】

11 【日向市・門川町・美郷町】冬春ミニトマト役員支部長会で展示ほ成績を報告

9日、JA営農センターで生産者6名、関係者4名が出席し、冬春ミニトマト役員支部長会が開催されました。

JAから、8月から11月の出荷実績は140tと好調であること、11月に福岡エリアでの販売促進会議を開催し、各市場との意見交換を実施したことが報告されました。

普及センターからは促成作で実施している展示ほの中間報告を行いました。特に品種比較試験では、試験品種が慣行品種と比較し草勢が強い状況をふまえ、栽培者から慣行品種よりは減肥し、摘葉管理等で草勢をコントロールしていると追加の報告があり、役員会での意見交換が深まりました。品種比較試験については、作終了まで実施し、総合的な収量品質評価を行う計画です。



【品種比較試験の生育状況】

12 【日向市・門川町・諸塚村・美郷町】スイートピーの収穫時期の草勢・肥培管理について講習

17日、JA塩見選果場でスイートピー出荷揃え会が開催され、生産者7名、関係者3名が参加しました。

出荷箱を開封し、ステムの曲がりや花シミ等の発生の有無、1箱に入れる花束の組み合わせについて確認を行いました。また、JAから年末年始の出荷取扱や販促活動の情報共有が行われました。

普及センターからは気象概況、収穫時期の草勢・肥培管理についての講習と、試験場が発表した新品種の情報提供を実施しました。12月後半以降は高温傾向で曇雨天が続く予報であるため、株の勢いを調整し蕾が落ちないように心がけて対策するよう管理の再確認を行いました。



【出荷物を比較】

13 【椎葉村】就農までもう一步、就農計画完成間近

11日、椎葉村役場で、来年度に夏秋ミニトマトでの就農を目指す地域おこし協力隊員を対象とした就農計画検討会を開催しました。

検討した就農計画は、10月17日に実施した就農計画作成ツール研修を受講後、本人が作成したもので、農家研修で得た体験や情報が反映された内容となっていました。

今後も関係者が連携し、年度末までの青年等就農計画の認定を目指した支援を継続していきます。

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【美郷町】新品種候補系統「南海189号」の講習を実施

18日、関係者6名と生産者13名が参加し、ひむか米振興協議会南郷支部、並びに東臼杵南部もみすり組合南郷支部の合同講習会が開催され、普及センターから普通期水稻の新品種候補系統である「南海189号」についての講習を行いました。

講習では、まず「南海189号」の特性及び今年度美郷町内で設置した展示ほの調査結果等について説明を行い、その後、南郷地区で生産された3品種を食べ比べ、参加者に食味評価をしてもらいました。その結果、「ヒノヒカリ」と比較しても同等以上の高い評価を得ることができました。

生産者からは「いつから本格的な栽培が可能になるのか」など積極的な質問もあり、期待が大きいことが強く感じられました。アンケート結果については、関係者を通じて生産者へも共有し、展示ほ結果と併せて新品種の普及に活用していきます。



【お米の食べ比べをする生産者】

2 【日向市・諸塚村・美郷町】ほおずき個人面談を実施

3日と10日、JA各支店でほおずきの個人面談が実施され、生産者11名、関係者2名が参加しました。

土壌診断の結果と先日の実績検討会で得た情報を基に作成した施肥設計を返却し、来作に向けた今後のスケジュールについて検討しました。土壌消毒の予定や来作の苗の確保状況を確認し、いずれの生産者も計画的に作業を進める準備ができていました。

今作は病害虫被害が多かったため、来作に向けて土壌消毒の徹底と作業遅れによる収量低下がないよう関係者と協力して指導していきます。

3 【日向市】きゅうりの生育調査をスタート

16日、日向市美々津きゅうりほ場で生産者3名が出席し、きゅうりの生育調査を実施しました。

これまでは、「みやざきデジタル施設園芸産地構築プロジェクト」に参加している2名のみが生育調査を実施していましたが、今回から簡易の環境測定機器を設置した部会員が農家自身で生育調査をすることになったため、事前の説明会を併せて開催しました。

調査項目を減らし、GoogleFormでの回答で負担を少なく継続できるように工夫しました。農家からは「この程度なら簡単でできそうだ」、「1節目がわかりにくい」といった意見があがりました。実際に調査を進めながら改良をしていきたいと思います。

今後は、生育調査で得た生育データと環境データを合わせて分析し、管理の改善提案を行うことで収量向上を支援していきます。



【タブレットを活用した生育調査】

4 【諸塚村】夏秋ミニトマト 根の堀取りと土壌硬度調査

8日、諸塚村内の夏秋ミニトマト栽培ほ場で、関係者4名で栽培終了時の根の堀取りと土壌硬度の調査を行いました。

今作は11月末で出荷を終了していますが、調査では根量は多く、病気や害虫の発生もない綺麗な根が見られ、土壌硬度についても根の生育に適した深さのほ場がほとんどでした。

また、全国的にトマトキバガの発生が確認される中、最後まで発生すること無く作を終えることができました。一部のほ場では、作後半にかけてコナジラミが増加傾向だったため、片付けと同時にハウス内雑草の除去を行い、越冬害虫を減らすよう指導しました。

5 【椎葉村】ほうれんそうの個別面談を実施

2日、関係者3名、新規就農者1名が参加し、今年度の実績検討を行いました。

就農2年目となる今年度の実績を振り返ることで、改善すべき点が明確になりました。

労働力の確保や、効率的な作業体系への見直しが課題として確認できたため、これを踏まえて次年度の作付計画作成に意欲的に取り組んでいました。

駐在では、引き続き関係機関と連携しながら計画作成に向けた技術的支援を行います。



【新規就農者と実績を検討】

6 【椎葉村】農業者研修動画の視聴会を開催

8日、椎葉村役場で農業者向け基礎知識の学び直し研修（リカレント研修）の動画上映会を開催し、研修受講を希望した2名が参加しました。病虫害防除に関する動画を視聴し、今後の農業経営に十分役立つと感じられたようです。今後、労務管理や農業共済、農地制度、植物生理に関する動画の視聴も希望されており、年度内に引き続き視聴会を開催する予定です。

椎葉村では普及センターでリカレント農業者研修が開催される夏の時期は夏秋作の繁忙期にあたり、農業者等の参加が難しい状況もありましたが、椎葉村の農閑期に研修時期をずらすことで参加が可能となっており、今後もこの対応を続ける予定です。



【病虫害の知識を動画で学ぶ】

7 【椎葉村】外国人材の活用状況を視察

12日に、椎葉村農業者1名、関係者4名が門川町施設園芸経営体での外国人材活用状況の視察調査を行いました。

普及センターが11月に開催した農業人材ベストミックス研修がきっかけとなり、活用事例発表をされた農業者から具体的な話を聞き、外国人材の働きぶりを直に目にすることができました。

その農場で働くインドネシアの人材は、仕事が早く、作業に真摯に取り組む姿が印象的で、参加した農業者も新たな人材確保策として検討に値すると好印象を抱かれたようです。

椎葉村においても労働力不足が課題であり、関係者と連携して解消に向けた検討を続けていきます。



【外国人材の仕事の早さに感心】

8 【椎葉村】春の七草出荷目揃え会が開催

16日、JA椎葉支店営農センターで春の七草出荷目揃え会が開催され、生産者10名、関係者3名が参加し、それぞれが持ち寄ったパック詰め見本を確認しながら活発な意見交換が行われました。

JAから出荷・調整に関する注意事項の説明が行われ、駐在からは病虫害対策と農作業安全について注意喚起を行いました。

生産者からは、産地一丸となって、ボリュームや品質の統一を図ろうと意見が交わされました。今期は5万パックの出荷が見込まれています。



【七草の商品づくりを最終確認】